



## 首

### 出口を間違えたら無理に出ようとしない

都高6号三郷線を走行していた大型トラックが、本線と八潮南出口の分離帯に衝突し、横転する事故がありました。運転していた男性は、「出口を勘違いした」などと話しているということです。出口直前になってから急に出ようとして運転操作を誤って分離帯に衝突したのだと思います。高速道路を走行しているとき、自分が出る出口に近づいて「ここで出るんだ」と気づいて、分離帯手前で強引に出口の減速車線に入り直す車を見ることがありますが、ハイスピードで走行している高速道路では、ちょっとしたハンドル操作ミスが大きな事故につながることを忘れてはなりません。出口に気づいた地点で分離帯までの距離が短いのであれば、強引に出ようとしないで次のインターチェンジまで走行するほうが、無理して大きな事故を起こすよりは損害が少ないと思います。もちろん、そういう間違いが起こらないように、自分が流出する出口はしっかりと頭に入れておいてください。

目的の出口の案内標識が出てきた時点で、追越車線を走行していたら、早めに走行車線に移っておきましょう。

## 先

### ゴミのポイ捨ては犯罪です

日、京都府警八幡署が、軽自動車を運転中に道路沿いの田んぼや側溝に菓子の空き袋が入ったカップ酒の空き瓶を捨てたとして、運転していた男性を特定して、「廃棄物処理法違反」の容疑で書類送検をしたというニュースがありました。廃棄場所の近くで農業をしている住民から、廃棄物について相談があり、同署が調べていたもので、男性は「昨年夏ごろから、合計50回以上捨てた」と供述しています。運転者のなかには、田んぼの側や川の流れを通るときに、ゴミを捨てる人がいますが、何気なしに捨てるということが、景観を損なうばかりか、他人に大きな迷惑をかけているということを考えなければなりません。前にもこちらに書きましたが、「車からゴミを捨てるということは、自分の人格を捨てている」と同じことです。そういう行為をする人は、当然運転マナーも悪いと思います。事実、捨てているものがカップ酒の空き瓶ということなので、飲酒運転の可能性も否定できません。車からのゴミのポイ捨ては、犯罪ですので絶対にやめてください。

## 京

### 登校時、横断歩道が必ず青になる信号機登場

都府亀岡市にある小学校前の横断歩道で、児童が登校中は必ず「歩行者信号を青」にするシステムを備えた信号機が設置された、とニュース報道がありました。児童が登校する朝の1時間だけ、歩行者側が常に青信号になる仕組みで、車が停止線に止まるとセンサーが感知して歩行者側の信号を赤に変えて車を通すシステムになっています。先頭車両が常に赤信号で停止することから、歩行者を守る効果が期待できます。本来であれば、小学生が登校時に利用するような横断歩道では、信号の有無に関わらず車は必ず停止して、歩行者の横断を優先すべきです。

しかし、我が国では3割程度の車が停止するものの、多くの車は横断歩道の歩行者を無視して通過しますので、横断する子どもたちは常に危険にさらされています。学校の前や登校時に限らず、すべての横断歩道で歩行者がいるときは必ず車を赤信号で停止させるシステムにしていくべきなのかも知れません。車優先社会の終わりを告げるシグナルとして、こうした信号機の運用を応援したいと思います。